

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている  やや良く なっている	通信会社（社員）	販売量の動き	・携帯電話の新機種の販売が好調である。	
		百貨店（売場主任）	それ以外	・個人消費はまだ回復しているとは言えないが、今月はうろう年で営業日数が多く、特に日曜日が1日多いため売上が非常に好調に伸びている。	
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・例年動くフレッシュャーズ・スーツに加えてトレンチコートが売れており、全体の売上を底上げしている。セール会場でもパステルカラーのニットや綿素材のコートなど、今すぐ着られて春にも着られる商材については客が反応し、実績が上がっている。	
		その他専門店 〔医薬品〕（営業担当）	販売量の動き	・1人当たり買上点数が5.2から5.4へと上昇しているため、来客数は前年同月比101.3%にとどまっているものの、売上は103%と伸びている。	
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・1月の大雪による反動のせいか、2月10日以降は前年を上回る集客が続いている。また、当社では前年同月の売上を上回っている店舗が多い。	
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・直前に予約する客が多く、予想よりも宿泊客が伸びている。	
	変わらない		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	単価の動き	・相変わらず特売比率が高いまま推移している。客は品質より価格を重視している。特に米では本年度のコシヒカリよりも古米の交じったブレンド米でよいという客が多い。
			百貨店（営業担当）	お客様の様子	・消費全般に厳しい状態は変わらないが、食品の催事では少しぜいたく感のある商品の動きがやや活発になってきた。
			スーパー（店長）	単価の動き	・今月は客単価が前年をクリアし、下げ止まり感が出てきた。しかし、例年にない雪の影響で来客数が減少したためプラスマイナスゼロである。
			スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は引き続き前年を上回っているものの、客単価は前年同様下落傾向にある。
			スーパー（店長）	お客様の様子	・同じような商品が並んでいれば、単価の安い方を選ぶ客が多い。
			スーパー（店長）	来客数の動き	・引き続き来客数は前年並みで推移している。今月はバレンタイン需要が好調で、関連売上は前年同月の110%程度まで増加した。今年のバレンタインの特徴は本人買いが増加し、高級チョコの品ぞろえを増やしたため単価も若干上昇した。社会催事については衣料関係の動きがいまひとつである。
			コンビニ（経営者）	来客数の動き	・当店の客には工事作業員が多いが、最近では工事が少ないため来客数が減少している。
			衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・2月は雪の降る日が土、日曜日に重なったこともあり、例年と比較すると売上は多少落ちている。
			衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・商店街の通行量は低調で、目的買いの客が中心である。
			家電量販店（経営者）	販売量の動き	・パソコン本体とソフトの売行きが非常に悪く、前年同月比で2けた以上のマイナスになっている。
			乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・2月に入って店頭への来場者数がやや減少している。新型車の谷間に入ったためとも考えられるが、今後販売量に影響が出る恐れがある。
			乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・季節的な要因から、販売量は総体的に上がっている。フルモデルチェンジした高額車両の受注、販売は好調であるが、既販車はもうひとつ盛り上がり欠けている。
			乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・来場者数は3か月前に比較して増加しているが、前年同月比では5%ダウンしている。
			住関連専門店（店員）	販売量の動き	・受注件数は全体で前年同月比96.7%、内訳はホームファッションが93.9%、家具は104.2%である。大型家具は好調であるが、ホームファッションの買い回りが厳しい結果となった。
		その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（経営者）	単価の動き	・価格競争はなお激しく、今後も続く。	

	スナック（経営者）	来客数の動き	・製造関係など多忙な会社の客は相変わらず来店しているが、不況業種の客は来店を控えているため、総体的に来客数は減少している。売上も前年同月の85%程度となっている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前と比べると、客室稼働率の上昇や、1月の大雪に伴い2月にずれ込んだ一般宴会の増加などにより、増収を見込んでいる。また、前年同月との比較では客室稼働率の上昇により若干上回る見込みである。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・個人の来場者数はそれなりにあるが、団体客が思わしくない。	
	競輪場（職員）	来客数の動き	・寒波による悪天候にもかかわらず、来客数の変動が少なく、予想以上の来客があった。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・昨年後半から今年の1月にかけて当社の各店舗の販売量にバラツキが見られたが、2月は全店舗とも販売量がそろってきた。	
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・展示場へ来る客は最初から新築を考えず、増改築を第一目的にしている人が結構多い。	
やや悪くなっている	コンビニ（経営者）	それ以外	・食品とそれ以外の商品の売上を比較すると、食品は前年比好調であるが、食品以外はそれほどでもない。後者の動向が景気のパロメーターになるとみている。	
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・年間の最大需要期を迎えながら、当社のイベントの来場者数は前年に比べてかなり減少し、また受注実績も大変落ち込んでいる。新型車や若者向けの人気車をそろえているディーラーの中には前年以上の実績を上げているところもあるが、それを持たない当社は大変苦戦している。	
	タクシー運転手	競争相手の様子	・タクシー利用客が増えないなか、各社とも台数をどんどん増やしている。また、他社でリストラになった人がタクシー運転手として働いている。夜の街は金、土曜日が若干良いが、平日は閑散としており、客が足を運ぶ回数がだんだん減っている。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・個人客やフリー客の動きは3か月前と比べ横ばいであるが、グループ、団体客の動きは鈍くなっており、総体では前年対比でマイナスである。	
	設計事務所（職員）	それ以外	・依然として建築業界は停滞している。しかし、マンションなど住宅の建築や購入を促すモデル設計図やイメージ図などの業務が発生しており、それぞれが景気回復への工夫を凝らし始めている。	
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅を求める人は春に向けて増えているが、少し低めの予算額を考えている人が多いため、なかなか購入までに至らない。	
	悪くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・買上客数は前年同月の83%に落ち込んでいる。
コンビニ（経営者）		来客数の動き	・雪の影響に加え、競合店が近い場所に出店したため、来客数が大幅に落ち込んでいる。	
企業動向関連	良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・今月は年度末に近いということもあり、先月に比べて短納期の引き合い、成約ともに活発である。
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が増加している。また、取引先へ特急の仕事を依頼してもなかなか応じてもらえず、取引先の状況も良くなっている。
		電気機械器具製造業（経理担当）	競争相手の様子	・仕事量はかなり戻っており、底固いものがある。ただし、単価は下がることがあっても上がることはなく、ある程度数量を増やさないとやっていけない。
変わらない	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・まだまだ低価格志向が根強く、特に業務用商品の価格低下が顕著である。全体的に前月から同じ傾向をたどっている。	
	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売単価はこの半年間、微減の状態である。	
	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・眼鏡の生産は春の販売シーズンに向けて多少上向っているが、これは季節的なものであり、生産量の実態は低下したままである。	
	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・業種によって価格、荷量ともにバラツキがあり、全体に模様眺めの状態である。	
	新聞販売店〔広告〕（従業員）	取引先の様子	・クライアントは折込チラシの枚数や回数を絞ってきている。	
	司法書士	取引先の様子	・不動産取引、建物の新築などの案件が非常に減っている。	

	やや悪くなっている	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・特に北陸3県の工事案件は医療・福祉関連、レジャー、流通で増加傾向にあるが、期末を控え、依然として受注価格競争は熾烈で採算確保は難しく、受注機会は少ない。
	悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の12月決算では売上が前年度比約20%のダウンとなっている。また、今年1月以降は手持ち工事も少なく、完工高も前年同月に比べて減少している。
雇用 関連	良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今月も引き続き求人広告件数は非常に多い。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・学生を始めとするアルバイト、パートの入替え時期であり、依然これらの求人は好調である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・東京、大阪、名古屋などの大都市圏からの求人広告の動きが目に見えて良くなっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人は安定し、求職者が大幅に減少したため、求人倍率も改善している。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・最近の新規求職者の状況を見ると、会社都合による離職者が3か月連続で減少している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数の動きに大きな変化はない。
	やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	